



株式会社
オリエンタルコンサルタンツ

■ ごあいさつ

社会価値創造企業へ



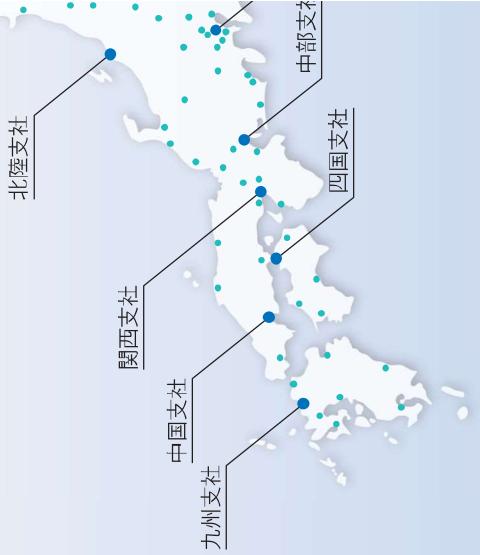
当社は昭和32年12月の創立以来、高度化、多様化する社会のニーズに対応するため、事業の多様化・組織の変革・拡大を図りながら知的サービスを提供してまいりました。そして、令和4年12月に創立65周年という節目を迎えることができました。これも、お客様である国民や発注者の皆様、株主、役職員やご家族の方々、諸先輩の方々等、多くの関係者からのご支援、ご鞭撻によるものと深く感謝申し上げます。

創立より60年以上にわたり、私たちは社会インフラ整備に関わる企業として、「安全、安心、快適、活力」という価値を提供してまいりました。そして、さらに魅力ある社会や持続可能な社会を創造するため、2030年ビジョンとして「社会価値創造企業」を掲げました。

株式会社オリエンタルコンサルタント
代表取締役社長 野崎 秀則

■ 国内主要事業所

● 支社
● 営業事務所



※2014年10月に、海外事業を担うGC事業本部をグループ会社

2006年8月

純粹持株会社の
株式会社ACKグループ設立
(OCLは、ACKグループの基幹企業)

2008年8月

株式会社バシフィックコンサルタントイン
海外事業の譲受け

2010年10月

総合マネジメント事業部設置
(事業領域の拡大)

2013年3月

株式会社オリエンタル群馬設立
(事業経営の推進)

2013年11月

株式会社ジー工ステックを子会社化
(事業経営の推進)

1974年4月

海外事業室設置

1975年6月

構造に加え、道路分野、
PC構造物の

1978年4月

特定プロジェクト室設置

■ 事業の多様化と組織の変革・拡大

■ 経営理念 (MISSION) ~私たちの使命~

私たちは、社員満足、顧客満足、社会貢献を追求することで、
真に魅力ある企業を実現します。

- ・全社員の物心両面の豊かさを追求する(社員満足)
- ・お客様に最高の総合的・知的サービスを提供する(顧客満足)
- ・世界の人々の豊かなくらしと夢の創造の実現に貢献する(社会貢献)

■ 経営姿勢 (VALUE) ~私たちの経営の考え方~

- ・私たちは、真に魅力ある企業の実現のために、
経営にあたつて以下の4つの考え方を大切にします。
適切な
利益の追求
- ・顧客や社会から信頼される企業になる
- ・個の成長、企業の成長、豊かさの実感の好循環を生み出し、
情熱とやりがいを醸成する
- ・好循環を生むために、適切な利益を追求する
- ・役職員一人ひとりが主役となる全員経営の推進、
経営基盤の強化を行う

■ 行動指針 (BEHAVIOR) ~私たちの行動の規範~

私たちは、全員経営の推進により、自らが成長するとともに、
仲間のため、顧客のため、社会のために貢献します。

当事者意識を持つ

役職員一人ひとりが経営理念の遂行に責任があることを自覚する。

チームワークをもつて協働する

役職員相互がコミュニケーションを充実し、仲間を尊重し、協働する。

自主・自律の精神で最善を尽くす

役職員一人ひとりが革新と変革、挑戦の気質を持ち、自己研鑽に努め、

■ 2030年ビジョン

日本トッパープラントの技術により、
～「全員経営」と「情熱とやりがい」がし



■ 我が社が目指すDX (デジタルトラ

DXによりより更なる顧客満足、社員満足、

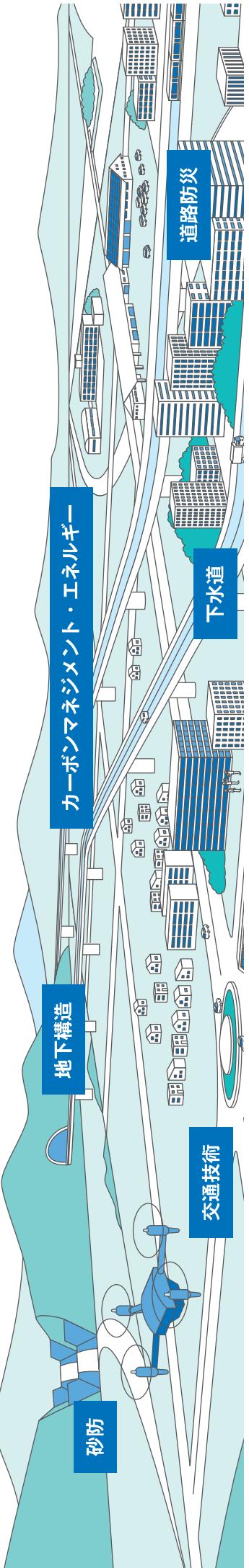
■ 事業分野

オリエンタルコンサルタントは、幅広い分野に事業を拡大し、「社会価値創造企業」を目指します。

流域管理・保全事業	
防災事業	
道路防災	国土強靭化地図計画・地盤防災計画 リスク分析 国土強靭化地図計画・地盤防災計画 リスク分析
砂防	津波警報施設 ハザードマップ 津波ミニマージョン 水没警報監査 リスク評価

道路整備・保全事業				
流域管理・保全事業				
道路	道路基盤施設設計 道路構造C-Cラウンドアバウト 地盤・地盤格道路設計 PA連結スマートIC設計 IC施工 事業推進PPPによる道路事業整理 高齢者用の面接室・能評理計 新規道路高架橋の面接室・能評理計 日本の大断面による高速道路高架橋の面接室・能評理計 海底トンネル設計 山岳トンネル設計 非常通路設備	ラウンドアバウト監視 PA連結スマートIC事業 電気機器の100年保証の実現 河川橋梁の面接室・能評理計 河川橋梁の面接室・能評理計 河川橋梁の面接室・能評理計 トンネル排水設備 CIVIC活用（山岳ヘンリル計画・施工支援）	道路防災事業 UAV一ヶ年を活用した道路設計 地盤災害対策検討 道の駅 地盤災害対策検討 自然を守る像面接室・能評理計 震災復興事業 河川修繕事業 大規模修繕 熊本地震に耐えた車の計画	p10
構造／保全	海岸構造物の面接室・能評理計 新規道路高架橋の面接室・能評理計 日本の大断面による高速道路高架橋の面接室・能評理計 海底トンネル設計 山岳トンネル設計 非常通路設備	高齢者用の面接室・能評理計 電気機器の100年保証の実現 河川橋梁の面接室・能評理計 河川橋梁の面接室・能評理計 河川橋梁の面接室・能評理計 トンネル排水設備 CIVIC活用（山岳ヘンリル計画・施工支援）	実験解析 土木道道の再生 熊本地震に耐えた車の計画	p12
地下構造	インフラ設備 河川施設 無線通信施設・河川施設・道路施設 河川施設・空港施設 河川施設	道路施設 無線通信施設・河川施設・ダム施設 新規河川施設 河川施設	無線通信施設 トンネル施設 維持管理 維持管理CIM 河川管理施設監修会CIM	p14
施設設備	インフラマネジメント支援システム【橋梁版】 インフラマネジメント【橋梁】 公井建設管D-X	インフラマネジメント支援システム【橋梁版】 インフラマネジメント【橋梁】 インフラマネジメント（道路）	公井施設監修 インフラマネジメント（空港） インフラマネジメント（道路）	p16
アセットマネジメント	災害復旧 被災者避出 かがわまちづくり	河川護岸整備 付替え河川の整備 災害復旧	河川管理CIM 健全度監査 調査地盤整備 長寿命化 付替え河川の整備 災害復旧	p15
河川・海岸	洋型設計 災害復旧 防災船舶場設計	防潮閘設計 付替え河川の整備 災害復旧	陸則設計 護岸設計 海岸設計 維持管理 維持管理 洋型設計 付替え河川の整備 災害復旧	p20
港湾・漁港	災害復旧 防災船舶場設計	防潮閘設計 付替え河川の整備 災害復旧	護岸設計 海岸設計 維持管理 維持管理 洋型設計 付替え河川の整備 災害復旧	p22
砂防	耐震対策 CIVIC活用	長寿命化 耐震対策 CIVIC活用	ストックマネジメント計画 老朽化調査・診断 事業推進PPP 教育・訓練	p24
下水道	浸水対策 梅雨解祈	下水道計画 老朽化調査・診断	地盤被害監察工法の開発 啓発計画 事業推進PPP 教育・訓練	p25
道路防災	防災啓発 リスク評価 防災地盤整備	啓発計画 事業推進PPP 教育・訓練	ハザードマップ 水没警報監査 リスク評価	p28
水防災	津波警報施設 津波ミニマージョン 地盤被害監査 リスク評価	津波警報施設 ハザードマップ 水没警報監査 リスク評価	防災行政対応 教育・訓練	p29
都市・地域防災	国土強靭化地図計画・地盤防災計画 リスク分析	国土強靭化地図計画 リスク分析	事業継続計画 リスココミュニケーション 教育・訓練	p30

交通事業	
地域経営推進事業	
交通技術	地盤被災道路の復旧 道の駅 地盤災害対策検討
交通政策	自然を守る像面接室・能評理計 震災復興事業 河川修繕事業 大規模修繕 熊本地震に耐えた車の計画
都市政策・都市開発・建築	景観・ランドスケープ/ 歴史・文化
観光	環境
環境	カーボンマネジメント・ エネルギー

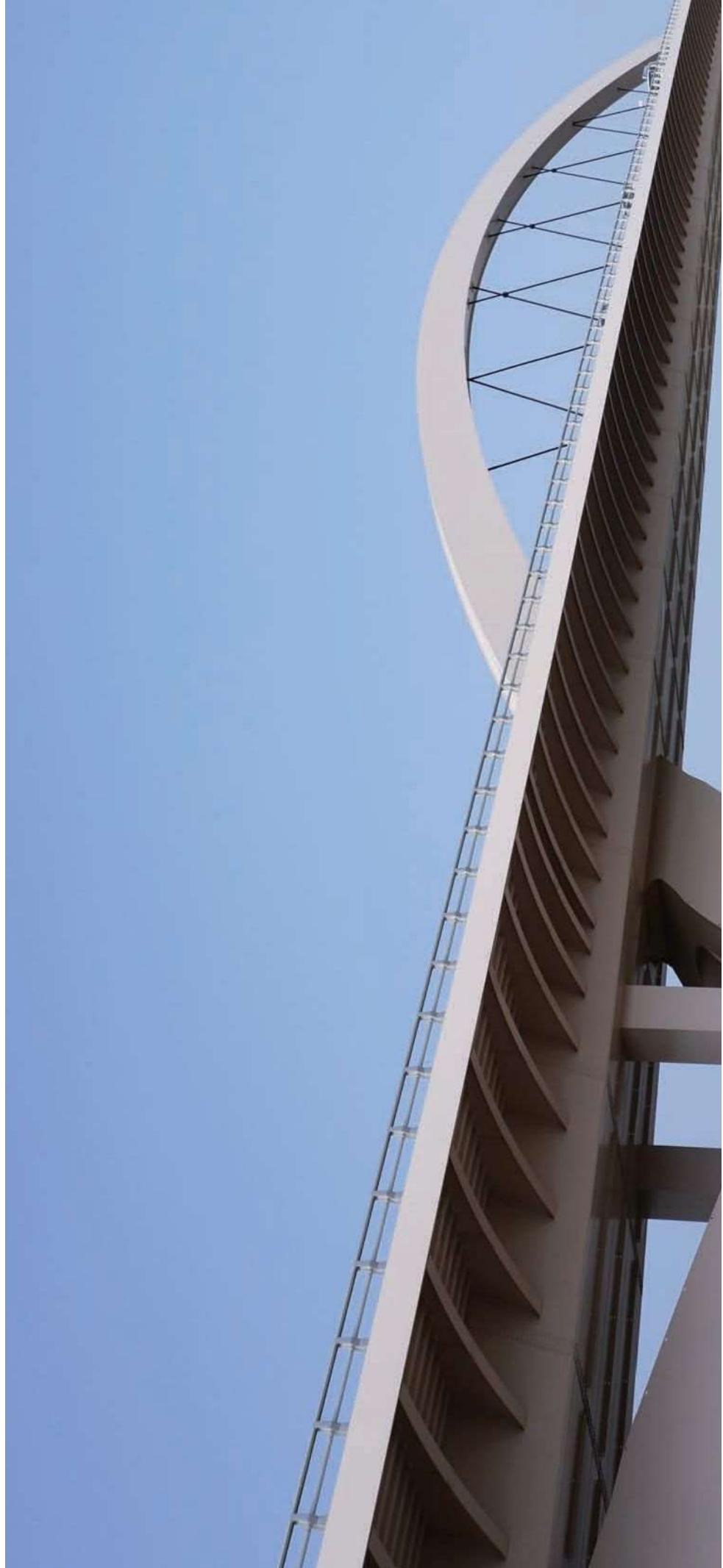


社会・経済を支える道路インフラを創る・守る

～社会インフラの整備・保全をDXの推進による変革を踏まえ、高度技術と全体マネジメントで最適化～

社会構造の変化に合わせて持続的な社会・経済活動を支えるために、道路インフラの整備は今後も欠かせません。

一方で、高度経済成長期に建設された多くの社会インフラが老朽化するなか、既存ストックの有効活用と維持管理・更新を計画的に実施私たちは、国内外で数々の表彰を受けるなど、これまでに培ったナンバーワン・オブリーガンの技術やマネジメント力を駆使し、DXへの変革も念頭に、社会インフラの整備・保全事業に総合的に継



道路

交通計画、橋梁、地下構造、景観、環境、防災などの多角的な視点から、地域のニーズに即した検討を行い、すべての利用者にとって「安全」「安心」「快適」な道路空間の計画・設計を行なっています。

道路連絡施設設計

大橋JCTの計画設計及び交通運用検討
都心部のコンバクトなジャンクションにおいて、路面標示や案内看板を色・デザインで統一することを提案するなど、安全な走行空間を構築するための計画・設計を行いました。



ラウンドアバウト設計

須坂市PAB予備設計・詳細設計
道路交通法の改正後、本格運用された日本初のラウンドアバウトの設計を実施しました。他の地域においても、地元への交通ルールを含めた説明会や関係機関協議・調整などの取り組み、導入検討・調査・分析、社会実験、計画・設計、施工計画など、実施しています。



BIM/CIMを活用した道路設計

名護東道路(久田地区)道路予備修正設計業務
屈曲した道路線形に対し、BIM/CIMの導入による3次元モデルを作成することで、信号や案内標識の視認性を視覚的に検証し、安全性に優れる道路設計を実施しました。



U/落
UA
的
た
石?
証

震!
陸
上
に
い

事業推進PPPによる道路事業監理
三陸沿岸道路事業監理業務
官民連携の新たな試みである、事業推進PPP手法による道路事業監理業務を受注し、意欲的に活動を展開しています。



BIM/CIMを活用した道路設計

東紀州地区道路設計
道路予備設計において、BIM/CIMを導入した設計を行い、数量の自動算出や構造物設計との整合確認など、3次元データを活用した道路設計を実施しました。



PA連絡スマートIC設計

由布岳PAスマートIC設計
大分自動車道由布岳PAにおけるスマートIC導入に伴い、道路・構造物詳細設計の実施、段階施工ステップを検討しました。



ICT施工

BIM/CIMによるICT土工導入促進支援



構造（橋梁・特殊構造・解析実験）／保全（点検、補修補強設計）

ニーズが多様化している現代、橋にも「美しさ」、「低環境負荷」、「低ライフサイクルコスト」等、様々な機能が要求されています。これらのニーズに応えるため、積極的に新たな技術・工法・手法を用い、次の世代に残る橋の計画・設計を行っています。

海洋架橋の計画・設計・維持管理計画

新湊大橋

国際拠点港湾伏木富山港の臨港道路における景観検討及び複合斜張橋のPC側溝間、接合部等の詳細設計を実施しました。（平成24年度土木学会田中賞受賞、照明学会照明普及賞受賞、土木学会デザイン賞2015奨励賞受賞）。



高塩害地域の「100年橋梁」の実現

数久田ICオンランプ橋

一般国道58号名護東道路の全線開通の最終橋梁を、設計コンセプト・ポリシーと最新技術を駆使し、高塩害地域の「100年橋梁」を計画・設計しました（令和3年度全日本建設技術協会全建賞受賞）。



河川橋梁の計画・設計

由利橋（由利タワー）

秋田県由利本荘市を流れる子吉川に架かる由利橋の架替え事業であり、鋼2径間連結斜張橋を計画・設計しました。



復興を支える橋の計画・設計

陸前高田ベルトコンベア橋

「奇跡の一本松」（写真右手奥）とともに復興のシンボルとなつたベルトコンベア橋「希望のかげ橋」を計画・設計しました。



自然を守る橋梁の計画・設計

七色高架橋

雄大な自然に恵まれた地区の橋梁を踏まえ、高強度材料の採用による地形改変を最小限化し、環境保全に配慮した橋梁設計をしました（平成17年度土木学会田中賞受賞、全日本建設技術協会全建賞受賞）。



自然を守る橋梁の計画・設計

紀勢宮川橋

ダブルワーレン形状の採用により、周囲の景観と調和がとれた機能美を有するトラス橋としました（平成17年度土木学会田中賞受賞）。



海洋架橋の計画・設計

小名浜マリンブリッジ

福島県いわき市小名浜港に建設された橋長927mの臨港道路橋です。航路上をまたぐ、5径間連続PCエクストラード橋であり、臨港道路橋として日本で初めて採用した形式です。小名浜港および周辺地区のランドマークとなっています。（平成29年度土木学会田中賞受賞、平成30年度PC工学会賞作品賞受賞、2019年日本コンクリート工学会賞作品賞受賞）。



都市内高速道路高架橋の計画・設計

横浜港北ジャノクション高架橋

首都高速横浜北西線および横浜北線第3京浜道路を結ぶ多層構造のジャンクションのうち、連結路及びランプ橋の設計を実施しました（令和元年度土木学会田中賞受賞）。



自然を守る橋梁の計画・設計

地下構造（トンネル・地下道・地下駐車場・地下空間・特殊構造・解析実験）

トンネルや地下構造物は、地上空間の環境保全や土地の有効活用に大きく貢献しています。当社は、トンネル本体・設備の計画から維持管理、補修・補強まで一貫した多くのトンネル技術（山岳トンネル、開削トンネル、シールドトンネル、沈埋トンネルなど）を提供しています。



海底トンネル設計

海の森トンネル（沈埋トンネル・東京港臨港道路南北線事業）

海の森トンネル（東京港臨港道路南北線事業）は、有明10号地と中央防波堤外側地区を結ぶトンネルである。当社は海の森トンネルの海底部分となる丸型トンネル約950mの設計を実施した。構造計画期間が短い鋼製内部にコンクリートを充填するフルサンド式工法が採用され、國の長さは国内最長となる134mとなる。フルサンド式工法とは、圓筒外表面・内面のナット部を鋼板で制作し、この部材間にコンクリートを打設して一体にする方法で、制作ツイッカで鋼板を組立て、海上に運搬し、コンクリート打設を行うことで、同時に後端函の鋼製の組立てが可能となる。施工法を採用した。（日建建「技術」を受賞）海の森トンネルは、国内で30事例ほどの、直近では約10年前の「那覇港臨港道路（沖縄県）」「新若戸道路（北九州）」「大阪夢咲トンネル（大阪市）」となるが、すべてにオランタルの設計技術が用いられている。



避難施設設計・設計

横浜環状北線・北西線避難施設設計

閉鎖された空間であるトンネル内で火災が発生した場合に、甚大な被害が生じる恐れがあるため、避難施設を設置します。当社は、避難施設を構成する避難扉、すべり台構造、階段構造等について実証実験を含めた設計サービスを提供し、安全安心な地下空間の利用に貢献します。



「横浜環状北線・北西線避難施設設計」

CIMの活用（山岳トンネル計画・施工支援）

名塩道路城山トンネル他詳細修正設計業務

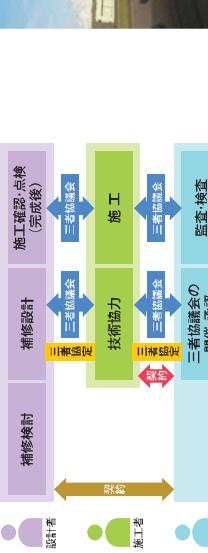
ICT（3次元測量、BIM/CIM）の高度利用により、ECI方式における関係者間の情報共有を迅速化し、技術提案・設計デザインの精度向上、対外協議の円滑化をはかりました（令和元年度 i-Construction大賞優秀賞受賞）。



インフラマネジメント（保全・維持管理）

自治体向けECI事業

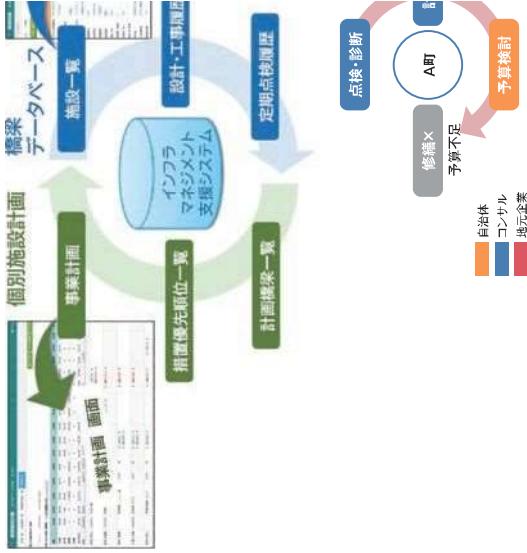
奈良県田原本町にて、全国初の自治体向けECI方式による橋梁保全事業を行いました。試行の結果、工期短縮、品質向上、発注者負担の軽減効果を確認できました。



「奈良県田原本町にて試行導入」

アセットマネジメント（保全・維持管理）

人口減少、財源不足、施設の老朽化等の環境変化やデジタル資本全体を包括的に維持・保全し、価値を高めるため



「イニシアチブ全活用」

「ECI方式（田原本町にて試行導入）」

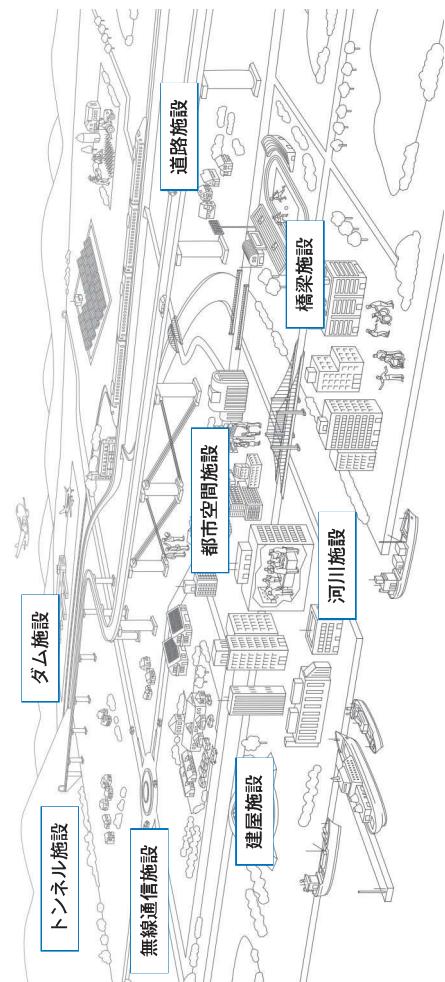
「公」

機械·通信·電氣設備

当社は、道路・トンネルの設備（照明、警報、換気等）からダムの制御設備など、電気、通信機械等の設備が必要不可欠です。

設備

設備配置計画



CCTV設備

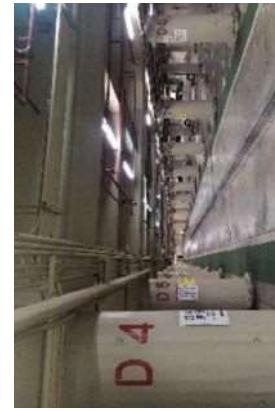
河川の水位や状況などをリアルタイムでモニタリングし、迅速な防災情報提供するのも公共インフラ設備の役割です。



都市空間施設

備設火氣換、氣、消、火、設、備

地下鉄道や地下駐車場など、都市では地下空間の有効利用が進められています。これらが運用されるためには、照明や消防設備などの公共インフラ設備が必要不可欠です。



トンネル施設

トンネル自動照明設計プログラムの開発

設計の省力化・品質確保を目的に、トンネル照明自動設計算の一連の設計プロセスを自動化した設計支援システム

The figure shows the architectural floor plan of the main hall of the Shanghai Museum. The hall is elliptical in shape, with a diameter of 100 meters and a width of 80 meters. The plan includes several sections labeled in Chinese:

- 南北通道 (North-South Passage)
- 东西通道 (East-West Passage)
- 环形走廊 (Circular Corridor)
- 椭圆形大厅 (Elliptical Hall)
- 圆心 (Center)
- 东侧 (East Side)
- 西侧 (West Side)
- 南侧 (South Side)
- 北侧 (North Side)
- 东入口 (East Entrance)
- 西入口 (West Entrance)
- 南入口 (South Entrance)
- 北入口 (North Entrance)
- 东出口 (East Exit)
- 西出口 (West Exit)
- 南出口 (South Exit)
- 北出口 (North Exit)
- 东楼梯 (East Staircase)
- 西楼梯 (West Staircase)
- 南楼梯 (South Staircase)
- 北楼梯 (North Staircase)
- 东电梯 (East Elevator)
- 西电梯 (West Elevator)
- 南电梯 (South Elevator)
- 北电梯 (North Elevator)
- 东卫生间 (East Washroom)
- 西卫生间 (West Washroom)
- 南卫生间 (South Washroom)
- 北卫生间 (North Washroom)
- 东休息室 (East Rest Room)
- 西休息室 (West Rest Room)
- 南休息室 (South Rest Room)
- 北休息室 (North Rest Room)
- 东办公室 (East Office)
- 西办公室 (West Office)
- 南办公室 (South Office)
- 北办公室 (North Office)
- 东仓库 (East Warehouse)
- 西仓库 (West Warehouse)
- 南仓库 (South Warehouse)
- 北仓库 (North Warehouse)
- 东仓库 (East Warehouse)
- 西仓库 (West Warehouse)
- 南仓库 (South Warehouse)
- 北仓库 (North Warehouse)

インフラ設備

設備配置計画

当社が手掛ける様々な公共施設に対し、設備配置計画から設備設計まで、幅広くサービスを提供しています。土木構造物や建築物など、利用するためには照明が必要です。その他、快適に利用するためにには利用者への情報提供が必要です。また、CCTV設備、防災設備、換気設備等により、安全安心を提供します。このように、設備配置計画は土木構造物および建築物などに命を吹き込むための「作業」になります。